

-----5月10日-----

今週のアウトルック (5/10 ~ 5/14)

先週は買い方にとって、散々のGWとなってしまいました。
大暴落の原因については、見方が大きく二つに分かれているように思います。
一つは一昨年リーマンショックの再来で、ギリシャ問題はユーロの経済問題から世界的な金融危機へと発展して、しばらくは円高、ドル高トレンドが継続する。
もうひとつはこの急激な下落は投機筋の演出に過ぎず、短期間で上昇トレンド(円安トレンド)を回復する。
というものだと思います。

個人的には前者の可能性が40%、後者の可能性が60%と考えています。いずれにしてもその答えは、今週一週間の相場状況で、ある程度出てしまうようにも思います。つまり、もし後者の理由であるならば、今週の早い時期に下げ止まって、上昇トレンドを再開する可能性が高いということになると思います。

ドル円は先週一時的に90円割れとなりましたが、今週再び90円を割る可能性は低いと思います。ユーロの状況にもよりますが、今週は基本的にはそれほど大きく動かないのではないかと考えています。

予想レンジは91円から95円です。

ユーロ円は先週110円台まで下落したのち、116円台まで戻して終了しています。今週はEUやIMFの対策にも大きく左右されそうですが、大きな不安センチメントがいったん収まる方向に向かえば、122円あたりまでの回復はおかしくはないのかもしれないかもしれません。逆に対策不十分というセンチメントが広がりを見せれば、売り方が再び勢いついて、ユーロドルの1.2割れを目指す展開となりそうです。

予想レンジは100円から122円です。

ポンド円は基本的にはユーロ円の動きに左右されそうです。ギリシャ危機から、ユーロ危機、さらにはポンド危機まで飛び火している状況です。このまま収まりがつかなければ、早期の上昇トレンド回復は難しいように思います。逆にEUの不安要素にいったん収まりがつけば、142円あたりの回復はあってもおかしくないように思います。

予想レンジは130円から142円です。

先週の暴落は不安センチメントに便乗した、投機筋の仕掛け的な売り込みに過ぎないのか、それとも世界金融危機の再来として、再びリスク回避的な動きが当分の間続いてしまうのか。このあたりをある程度見極めるうえでも、大切な一週間となりそうです。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。